令和6年度鶴見区区政会議（第1回全体会）での意見とその対応等について

NO	委員名	ご意見	対応や考え方等	担当
1	坂本委員	<p>【成果指標の妥当性について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民アンケートだけによって成果を測定することには疑問が残る。 また様々な視点から成果を測定しているのであれば、それらの測定結果を踏まえた成果を漏れなく運営方針に記載したうえで、区民アンケート結果はその裏付けとなるような記載内容にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策や事務事業を評価するためには、定量的な評価は不可欠との考えから、これまでからアンケート結果を活用していますが、総合的に評価する際には、当該結果以外の定性的な評価も考慮することが重要と考えており、運営方針においてもそのような総合的な評価結果を記載してきております。 今般、令和7年2月に本市運営方針の策定・評価を所管する市政改革室から「区民アンケート結果を運営方針の目標達成の判断材料に使用することは、区民の代表性を有しているかのような誤解を招く恐れがあり、運営方針のアウトカム（中期の成果指標）測定に用いることは望ましくない」との見解が示されました。 当該見解を踏まえ、令和8年度以降からは成果指標としては区民アンケート結果に代わるものを設定することといたしますが、適切な総合評価につなげていけるよう区民アンケート結果についても引き続きの活用を検討を進めていきます。 また、各種事業を実施する際には、当該事業の性質等に応じた手法により成果を測定していますが、それらを漏れなく運営方針に記載することで情報量が多くなり、区民等にとって分かりにくくなることを見込まれ、一定の簡素化も必要と考え 	政策推進

令和6年度鶴見区区政会議（第1回全体会）での意見とその対応等について

NO	委員名	ご意見	対応や考え方等	担当
			<p>ています。そのため、成果指標に設定する指標数については、これまでどおり主要なものを1つから複数程度設定することが望ましいと考えています。</p>	
2	坂本委員	<p>【Instagramの活用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSの活用について、Instagramの活用は困難であり、大阪市LINE公式アカウントの活用に注力することのことだが、SNSの各種媒体には一長一短があり、Instagramが決定的に不適であるとは思えない。若年層に支持されているInstagramの活用を始めることには一定の意義があるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘のとおり、Instagramの活用を始めることについては、一定の意義があるものと考えます。 ・ 令和6年度区政会議（第1回全体会）では、当区としてInstagramを活用しない理由について、次のとおりお示ししました。 <p>【以下抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Instagramはビジュアル面に特化したSNSであり、写真・画像や動画をメインとした視覚的な情報発信ができるのが強みです。 ・ 区役所からの情報発信に際しての利用では、チラシやお知らせ用に作成した画像の投稿、または写真・動画を用いた催しの周知報告といった場面での活用が考えられ、これまでもその利用を検討しましたが、次の理由で見送っています。 ・ 区役所の発信する情報は、その要件はじめ詳細な情報をリンク情報として併せて掲載するところですが、Instagramは、Webページへのリンク機能が限定的であることから、投稿を入り口として区 	政策推進

令和6年度鶴見区区政会議（第1回全体会）での意見とその対応等について

NO	委員名	ご意見	対応や考え方等	担当
			<p>役所ホームページを参照いただきたい場合などは、簡単な操作で情報を取得できないことがデメリットとして挙げられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、インスタグラムでは独自の解析・分類により利用者の関心が高い情報を学習し、そうした情報を含む投稿を上位におすすめ表示する機能も特長であることから、発信する情報を十分検討し、投稿する時間帯や頻度にも配慮したうえで、他の情報に埋没しないような工夫も必要であり、一般的な広範囲の住民を対象としている以上、その対応は困難なところです。 ・区の広報として、必要なときに必要な情報をわかりやすく区民の皆様に提供することを目的としていますが、こうした課題があることから、インスタグラムを活用した情報発信は現時点では目的にそぐわないものと考えています。 ・現時点ではインスタグラムの活用を見送っていますが、今後、インスタグラムに新しい機能が実装され、区政情報に関する区民等のニーズと合致するようであれば、活用を検討していきます。 	

令和6年度鶴見区区政会議（第1回全体会）での意見とその対応等について

NO	委員名	ご意見	対応や考え方等	担当
3	金児委員	<p>【効果的な発信媒体の探求について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区政会議の様子を録画したユーチューブの再生回数が多かったとのことだが、視聴者が当該動画を視聴するに至った過程等を分析することによって、効果的な発信媒体や手法を明らかにするきっかけになるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 当区では令和5年度鶴見区区政会議（第3回全体会）から区政会議（全体会）の様子を録画したうえで、後日、区役所ホームページ内のユーチューブにて動画配信を行っています。 動画配信の再生回数は、令和5年度鶴見区区政会議（第3回全体会）では約1,500回、令和6年度鶴見区区政会議（第1回全体会）では約130回でした。ちなみに他区における再生回数は約50回～約300回程度となっています。 令和5年度鶴見区区政会議（第3回全体会）での再生回数が多かったことから、ユーチューブのチャンネル管理画面から分析したところ、主な特色として、視聴者の約95%は関連動画（主としてコロナワクチンや他自治体関連情報）からアクセスしたことなどが分かりました。 令和6年度鶴見区区政会議（第1回全体会）でも同様に分析したところ、再生回数が少ないこともあり、特段顕著なものは見当たりませんでした。 今後は、継続して分析を進めるとともに、得られたデータについては有効性を含め、効果的な情報発信に活用できるかどうか検証していきます。 	政策推進